

## 第4章 これまでの取り組みの総括

### 1. 若葉世代

#### (1) 指標の達成状況

		正しい生活習慣	栄養・食生活	身体活動・遊び	歯の健康	タバコ・アルコール	心の健康づくり	総計	
A. 改善した	1. 目標値に達した	2	2	0	2	0	0	6	14.0%
	2. 目標値に達していない	3	6	2	2	0	4	17	39.5%
	3. 目標の数値なし			4				4	9.3%
B. 変わらない		0	1	0	0	0	0	1	2.3%
C. 悪くなっている		4	4	0	0	2	5	15	34.9%

#### (2) 総括評価

若葉全体では、策定時と比較して 62.8% の指標が改善し、14.0% が目標を達成した。また、34.9% は改善がみられなかった。

##### a. 改善した分野

「正しい生活習慣」、「栄養・食生活」、「身体活動・遊び」、「歯の健康」

##### b. 改善が見られない分野

「タバコ・アルコール」、「心の健康づくり」

#### (3) 詳細評価

##### a. 改善した個別指標

「正しい生活習慣」：早寝早起き等の生活習慣が定着している 3 歳児が増えた。

「身体活動・遊び」：子どもとよく遊んでいる父親が増加した。また、小・中学生の体力が改善した。

「歯の健康」：幼児、小・中学生とも虫歯保有率が減少した。

##### b. 改善が見られない個別指標

「正しい生活習慣」：乳幼児健診において、健診月（年）齢によって受診率の上下動が見られるものの、いずれも策定時より低下した。

「栄養・食生活」：幼児の肥満児が増加した。

朝食摂取状況は、小・中学生とも目標に達成せず、また中学生の方がより摂取率は低かった。

「タバコ・アルコール」：未成年者の喫煙率が増加した。

「心の健康づくり」：育児について相談できる人がいない、育児を楽しいと思えない母親が増加した。また、虐待の相談件数が増加した。

##### c. 改善状況が不明な個別指標

なし

## 2. 青葉世代

### (1) 指標の達成状況

		個人の健康管理能力の育成支援	栄養食生活	身体活動・運動	歯の健康	タバコ・アルコール	心の健康づくり	総計	
A. 改善した	1. 目標値に達した	1	2	0	1	1	0	5	13.9%
	2. 目標値に達していない	2	1	0	1	8	0	12	33.3%
	3. 目標の数値なし	0	0	0	0	0	0	0	0%
B. 変わらない		0	0	0	0	0	0	0	0%
C. 悪くなっている		1	0	1	0	1	0	3	8.3%
D. 評価が困難		7	3	4	0	1	1	16	44.4%

### (2) 総括評価

青葉全体では、47.2%の指標が改善し、13.9%が目標を達成した。また、8.3%が悪くなった。

なお、制度や対象者の算出方法が変更となったことや最新の結果がないことなどにより、評価が困難な指標が44.4%あった。

#### a. 改善した分野

「栄養・食生活」、「歯の健康」、「タバコ・アルコール」

#### b. 改善が見られない分野

「身体活動・運動」

#### c. 改善状況が不明な分野

「個人の健康管理能力の育成支援」、「心の健康づくり」

### (3) 詳細評価

#### a. 改善した個別指標

「個人の健康管理能力の育成支援」：健康意識や健診受診の状況は改善した。

「栄養・食生活」：朝食を食べている人は増加し、適正体重者が男女とも増加し目標値に達した。

「歯の健康」：歯の保有数、定期的に歯科検診を受けている人は増加した。

「タバコ・アルコール」：タバコの害を認識している人は増加し、喫煙率も減少した。

アルコールの適量を認識し、適量飲酒を心がけている人は増加した。

#### b. 改善が見られない個別指標

「身体活動・運動」：からだを動かすことを心がけている人は減少した。

「心の健康づくり」：ストレスを感じている人は増加した。

#### c. 改善状況が不明な個別指標

「個人の健康管理能力の育成支援」：がん検診受診率及び糖尿病の費用について、推計対象人口や制度の変更があり比較が困難である。

「栄養・食生活」：野菜・脂肪・食塩の摂取量について、同一統計の数値が得られない。

「身体活動・運動」：歩数や運動習慣について、同一統計の数値が得られない。

### 3. 紅葉世代

#### (1) 指標の達成状況

		自主的な健康管理	栄養食生活	身体活動・運動	歯の健康	タバコ・アルコール	心の健康づくり	総計	
A. 改善した	1. 目標値に達した	0	0	1	1	1	1	4	28.6%
	2. 目標値に達していない	1	1	0	0	2	0	4	28.6%
	3. 目標の数値なし	0	0	0	0	0	0	0	0%
B. 変わらない		0	0	0	0	0	0	0	0%
C. 悪くなっている		0	0	0	0	0	1	1	7.1%
D. 評価が困難		0	1	3	0	0	1	5	35.7%

#### (2) 総括評価

紅葉全体では、57.2%の指標が改善し、28.6%が目標を達成した。また、7.1%が悪くなった。

なお、制度や対象者の算出方法が変更となったことや最新の結果がないことなどにより、評価が困難な指標が35.7%あった。

##### a. 改善した分野

「自主的な健康管理」、「歯の健康」、「タバコ・アルコール」

##### b. 改善が見られない分野

なし

##### c. 改善状況が不明な分野

「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「心の健康づくり」

#### (3) 詳細評価

##### a. 改善した個別指標

「自主的な健康管理」：健診および人間ドック受診者は微増した。

「栄養・食生活」：バランスのよい食事をしている人は微増した。

「身体活動・運動」：からだを動かすことの心掛けは増加し、目標値に達した。

「歯の健康」：80歳で20本以上自分の歯を有する人は増加し、目標値に達した。

「タバコ・アルコール」：喫煙率は減少し、アルコールの適量を認識し、適量飲酒を心がけている人は増加した。

「心の健康づくり」：要介護者の割合は減少した。

##### b. 改善が見られない個別指標

「心の健康づくり」：充実感を感じている人は減少した。

##### c. 改善状況が不明な個別指標

「身体活動・運動」：外出や歩数について、同一統計の数値が得られない。

「心の健康づくり」：趣味活動等への参加は、同一統計の数値が得られない。

#### 4 指標一覧

##### 1. 若葉世代（0～14歳までの親子）

###### 1 正しい生活習慣

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成 状況	目標値
1-1	8時前に起きる3歳児の増加	3健アンケート	83.1%	85.0%	88.4%	A-2	90.0%
1-2	22時までに寝る3歳児の増加	3健アンケート	57.2%	63.5%	73.2%	A-1	70.0%
1-3	テレビを4時間以上見ている3歳児の減少	3健アンケート	8.3%	10.0%	5.2%	A-2	5.0%
1-4	乳幼児健診受診率の増加						
	4か月児健診	健診実績	98.7%	99.3%	97.2%	C	99.0%
	10か月児健診	健診実績	98.0%	95.6%	96.3%	C	99.0%
	1歳6か月児健診	健診実績	97.1%	98.6%	96.5%	C	98.0%
	3歳児健診	健診実績	97.3%	96.3%	95.3%	C	98.0%
1-5	麻しん・風しん予防接種が終了している子の増加	市衛生統計	96.0%	98.0%	98.8%	A-1	98.0%
1-6	BCGの予防接種が終了している子の増加	市衛生統計	77.9%	97.3%	97.4%	A-2	98.0%
新	低出生体重児の割合の減少	人口動態統計	8.9%	9.2%	8.4% (H21)		減少傾向へ
新	休日・夜間対応の子ども急患センターを知っている親の割合の増加	幼児健診アンケート	—	—	84.5%		100%

指標の見直しについて

○低出生体重児は成人期の糖尿病や高血圧等の生活習慣病を発症しやすいとされている。健康な子どもを産み育てるための重要な指標となる低出生体重児の割合を指標として追加する。

○今年度より小児救急医療体制の整備を図るため、県子ども急患センターが開設された。これを広く市民に周知する必要があるため、新たに指標として追加する。

###### 4

これまでの  
取り組みの総括

###### 2 栄養・食生活

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成 状況	目標値	目標値 見直し
2-1	朝食を毎日食べる3歳児の増加	3健アンケート	88.0%	92.1%	95.0%	A-1	95.0%	
2-2	朝食を毎日食べる児童・生徒の増加							
	小学5・6年生(男子)	県調査	—	91.6%	92.3%	C	95.0%	
	小学5・6年生(女子)	県調査	—	94.5%			95.0%	→ 100%
	中学生(男子)	県調査	—	82.1%	86.2%	A-2	95.0%	
	中学生(女子)	県調査	—	81.9%			95.0%	→ 100%
2-3	夕食を一人で食べている児童の減少							
	小学1・2年生(男子)	養教部会調査	—	0.6%	0.6%	B	0.0%	
	小学1・2年生(女子)	養教部会調査	—	0.3%	0.4%	C	0.0%	
2-4	時間を決めておやつを与えている親の増加	3健アンケート	61.7%	64.4%	72.6%	A-2	80.0%	
2-5	肥満児の減少							
	1歳6か月児(15%以上)	市健診	2.7%	3.6%	2.8%	C	2.0%	
	3歳児(15%以上)	市健診	4.1%	4.8%	4.8%	C	2.0%	
	小学生(男子)	学校保健統計	10.6%	9.7%	8.5%	A-2	5.0%	
	小学生(女子)	学校保健統計	6.9%	6.5%	6.0%	A-2	5.0%	
	中学生(男子)	学校保健統計	10.6%	9.7%	8.4%	A-2	5.0%	
	中学生(女子)	学校保健統計	7.6%	7.7%	7.0%	A-2	5.0%	
2-6	生後3か月まで母乳で育てている親の増加	市4健	40.1%	43.1%	50.5%	A-1	50.0%	
新	中学生女子のやせの減少	学校保健統計	4.0%	3.0%	4.4%		減少傾向へ	

指標の見直しについて

○小・中学生の朝食の摂取については、市の食育推進計画に合わせ目標値を100%とする。

○1歳6か月児の肥満については、肥満度20%以上の数値としていたが、3歳児と同様15%以上とし、それに伴い策定時、中間評価とも数値を変更する。また、目標値は3歳児と同様2.0%とする。

○小・中学生の肥満については、「健やか親子21」と同様目標を「減少傾向へ」とする。

○10代のやせは、将来の母体の成長・発達に影響するため、新たに中学生女子の瘦身傾向についても指標を追加する。

### 3 身体活動・遊び

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
3-1	子どもとよく遊んでいる父親の増加						
	1歳6か月児	1.6健アンケート	—	40.7%	47.8%	A-2	60.0%
	3歳児	3健アンケート	—	37.1%	41.6%	A-2	60.0%
3-2	子どもの体力低下を防ぐ						
	20Mシャトルラン 小学5年男子	全国体力・運動能力、運動習慣等調査	—	57.50(回)	62.77(回)	A-3	改善へ
	20Mシャトルラン 小学5年女子		—	46.05(回)	53.36(回)	A-3	改善へ
	持久走 中学2年男子		—	6' 08" 17	6' 00" 36	A-3	改善へ
	持久走 中学2年女子	調査	—	4' 30" 15	4' 27" 00	A-3	改善へ

### 4 歯の健康

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
4-1	虫歯のある子どもの減少						
	1歳6か月児	1.6健診結果	3.4%	2.1%	2.0%	A-2	0.0%
	3歳児	3健結果	30.3%	25.6%	17.7%	A-1	20.0%
	小学生	学校保健統計	77.5%	73.7%	68.4%	A-2	60.0%
	中学生		70.7%	64.2%	53.3%	A-1	60.0%

### 5 タバコ・アルコール

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
5-1	未成年の喫煙者の減少(15~19歳)	21アンケート	7.1%	6.4%	7.5%	C	0.0%
5-2	日本酒の適量を1日1合と知っている人の増加	21アンケート	50.0%	18.4%	15.4%	C	60.0%

### 6 心の健康づくり

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値	目標値見直し
6-1	育児を楽しいと感じている母親の増加(4か月児)	4健アンケート	84.4%	84.7%	71.8%	C	90.0%	→ 変更
6-2	家事・育児に協力・参加する父親の増加(1歳6か月児)	1.6健アンケート	80.2%	92.1%	94.4%	A-2	100%	
6-3	虐待の相談件数の減少	子ども福祉課相談件数	45件	59件	78件	C	増加を経て減少へ	
6-4	子どもへの虐待感を持つ親の減少							
	1歳6か月児の保育者	1.6健アンケート	—	3.2%	2.1%	A-2	0.0%	
	3歳児の保育者	3健アンケート	—	6.2%	4.7%	A-2	0.0%	
6-5	子育てに関する相談相手の配偶者の増加							
	1歳6か月児	1.6健アンケート	73.2%	71.4%	68.2%	C	80.0%	→ 削除
	3歳児	3健アンケート	72.2%	68.0%	70.8%	C	80.0%	
6-6	育児について相談相手がいない母親の減少(1歳6か月児)	1.6健アンケート	—	1.8%	7.4%	C	0.0%	
6-7	生後4か月までの訪問件数の増加	乳児家庭全戸訪問実績	53.5%	67.9%	90.3%	A-2	95.0%	
新 6-1	「一緒にいたくない」、「泣き声を聞くのがつらい」等感じている母親の減少	4健アンケート	—	—	5.3%		減少傾向へ	

指標の見直しについて

- 6-1については、育児支援の必要性の観点から、「一緒にいたくない」「叩いてしまいそうになる」「泣き声を聞くのがつらい」等への支援が必要と考え、指標を変更する。
- 6-5については、配偶者に限らず相談できる人がいるかどうかが育児支援を考えた時に重要であるため、「健やか親子21」に合わせ6-6の指標のみとする。

## 2. 青葉世代（15～64歳）

### 1 個人の健康管理能力の育成支援

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値	目標値見直し
1-1	三大死因による死亡者数の減少(人口千人あたり)(全年齢)	市保健衛生統計	4.8人	5.1人	5.5人	C	4.2人	
	悪性新生物(人口10万対)	市保健衛生統計	270.2	258.1	287.4			
	心疾患(人口10万対)	市保健衛生統計	135.1	142.6	154.6			
	脳血管疾患(人口10万対)	市保健衛生統計	104.8	106.8	100.6			
1-2	自分の健康に関心を持っている人の増加(15～64歳)	21アンケート	69.4%	72.4%	71.2%	A-2	80.0%	⇒ 変更
1-3	年1回健康診査を受けている人の増加(15～64歳)	21アンケート	59.6%	64.1%	61.9%	A-2	80.0%	
1-4	特定健診(国保加入者)受診者の増加(全年齢)	保険年金課統計	—	※20.9%	24.1%	D	55.0%	
1-5	がん検診受診者の増加(全年齢)							
	肺がん検診	市保健衛生統計	—	29.4%	19.7%	D	40.0%	22.6%
	胃がん検診	市保健衛生統計	—	15.1%	10.9%	D	18.4%	12.3%
	大腸がん検診	市保健衛生統計	—	17.3%	17.5%	D	24.2%	21.9%
	子宮がん検診	市保健衛生統計	—	21.2%	33.9%	D	25.8%	34.8%
	乳がん検診	市保健衛生統計	—	12.8%	22.9%	D	17.6%	25.0%
1-6	メタボリックシンドロームを認知している市民の割合(全年齢)	食育アンケート	—	70.0%	94.0%	A-1	80.0%	⇒ 変更
1-7	糖尿病の一人あたり費用額(国保加入者)の減少(全年齢)	市国保疾病分類統計	—	1301円	1234円	D	1300円	⇒ 変更
新	メタボリックシンドローム予防の生活習慣改善を継続的に実施している人の増加(全年齢)	食育アンケート	—	—	39%		50%	
新	糖尿病予備群の増加率の抑制(15～64歳)	保険年金課統計	—	※13.5%	17.6%		23.0%	

※平成20年度の数値

(1-4) 平成20年度からの実施

(1-5) 平成21年度より、受診率は国の推計対象者数にて算出

(1-7) 医療保険制度の改正により、今回は75歳以上の人気が含まれていない

#### 指標の見直しについて

○(1-2) (1-6) の指標は改善したが、メタボ予防には生活習慣を改善することが重要であるため、「メタボ予防の生活習慣改善を継続的に実施している人の増加」の評価指標に変更する。

○(1-5)については、平成21年度からがん検診の対象者数の変更により、それに合わせて目標値を修正した。

○(1-7)は、医療保険制度の改正により指標としては比較が難しい。糖尿病予備群の増加を抑制する指標に変更する。(現状は年平均約2ポイントずつ増加傾向にあるものを1ポイントに抑える)

### 2 栄養・食生活

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値	目標値見直し
2-1	毎日朝食を食べている人の増加(15～64歳)	21アンケート	84.7%	83.9%	85.4%	A-2	95.0%	
2-2	成人の野菜の摂取量の増加	県民健康栄養調査	287.4g	296.3g		D	350g	
2-3	20～40歳代脂肪エネルギー比率の減少	県民健康栄養調査	26.1%	26%		D	25%	
2-4	成人食塩摂取量の減少	県民健康栄養調査	11.5g	11.6g		D	10g	
2-5	適正体重者の増加(15～64歳)							
	男性	21アンケート	44.9%	58.9%	68.9%	A-1	60.0%	⇒ 変更
	女性	21アンケート	53.5%	60.8%	74.2%	A-1	60.0%	⇒ 変更
新	20歳代女性のやせの者の減少	21アンケート	—	—	20.4%		15%	
新	20～64歳代男性の肥満者の減少	21アンケート	—	—	28.0%		15%	
新	40～64歳代女性の肥満者の減少	21アンケート	—	—	15.4%		減少傾向へ	

(2-2, 2-3, 2-4) 今回県民健康栄養調査の結果が出ていないため、直近値が得られない

#### 指標の見直しについて

○(2-5)は適正体重全体を評価指標としていたが、肥満は生活習慣病の発症と深く関係があるため、今後は健康日本21の指標にもとづき、男女の肥満の特徴から、20～64歳の男性肥満者・40～64歳の女性肥満者の評価指標に変更する。

○若い女性のやせが多くの健康問題のリスクを高め、さらに「次世代の子ども」の生活習慣病のリスクを高めると危惧されているため、20歳代女性のやせについての指標を追加する。

### 3 身体活動・運動

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成 状況	目標値
3-1	からだを動かすことを心がけている人の増加(15~64歳)	21アンケート	62.5%	57.6%	59.6%	C	80.0%
3-2	日常生活における歩数の増加						
	男性	県民健康栄養調査	9,171歩	6,978歩		D	9,200歩
3-3	女性	県民健康栄養調査	8,910歩	6,463歩		D	9,000歩
	運動する習慣を持っている人の増加(15~64歳)						
3-3	男性	県民健康栄養調査	19.1%	27.1%	46.9%	D	39.0%
	女性	県民健康栄養調査	18.8%	28.5%	38.4%	D	35.0%

(3-2)今回県民健康栄養調査の結果が出ていないため、直近値が得られない

(3-3)直近値は21アンケート

### 4 歯の健康

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成 状況	目標値
4-1	60歳で24本以上自分の歯を有する人の増加 (55~64歳)	国歯科疾患基礎調査 (福井県)	44.1%	55.0%	52.2%	A-2	60.0%
4-2	60歳で定期的に歯科医師から歯科検診を受けている人の増加(55~64歳)	国歯科疾患基礎調査 (福井県)	15.9%	24.9%	35.8%	A-1	30.0%

(4-1、4-2)直近値は21アンケート

### 5 タバコ・アルコール

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成 状況	目標値
5-1	喫煙者の減少(20~64歳)	21アンケート	28.7%	25.7%	21.5%	A-2	15.0%
5-2	禁煙に取り組もうとする人の増加(20~64歳)	県民健康意識調査	10.8%	37.2%	13.2%	D	50.0%
5-3	未成年の喫煙者の減少(15~19歳)	21アンケート	7.1%	6.4%	7.5%	C	0.0%
5-4	日本酒の適量を1日1合と知っている人の増加(15~64歳)	21アンケート	50%	44%	64.9%	A-1	60.0%
5-5	適量の中で飲酒を楽しもうと思っている人の増加(20~64歳)	21アンケート	50.3%	69.0%	78.9%	A-2	80.0%
5-6	タバコが健康に与える影響について知っている人の増加(15~64歳)						
	肺がん	県民健康意識調査	77.8%	94.1%	95.4%	A-2	100.0%
	ぜんそく	県民健康意識調査	69.5%	81.3%	83.9%	A-2	95.0%
	心臓病	県民健康意識調査	56.0%	67.8%	72.3%	A-2	80.0%
	脳卒中	県民健康意識調査	50.2%	66.7%	74.9%	A-2	80.0%
	妊娠に関連した異常	県民健康意識調査	72.3%	85.4%	90.1%	A-2	95.0%
	歯周病	県民健康意識調査	40.3%	50.1%	64.1%	A-2	70.0%

(5-2)直近値は21アンケートによるが設問内容が異なる

(5-6)直近値は21アンケート

### 6 心の健康づくり

	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成 状況	目標値
6-1	ストレスを感じている人の減少(15~64歳)	21アンケート	55.4%	60.9%	74.8%	D	45.0%

(6-1)直近値は21アンケートによるが設問内容が異なる

### 3. 紅葉世代（65歳以上）

1 自主的な健康管理							
	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
1-1	健診および人間ドック受診者の増加(65歳以上)	21アンケート	60.4%	62.6%	61.4%	A-2	70.0%

2 栄養・食生活							
	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
2-1	家族と一緒に食事をする頻度(週に4, 5日以上)の増加(65歳以上)	県民健康栄養調査	80.3%	75.0%	85.4%	D	85.0%
2-2	バランスのよい食事をしている人の増加(65歳以上)	21アンケート	23.1%	37.0%	25.0%	A-2	50.0%

(2-1)直近値は21アンケートによるが、設問内容が異なる

3 身体活動・運動							
	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
3-1	からだを動かすことを心がけている人の増加(65歳以上)	21アンケート	62.5%	78.3%	81.0%	A-1	80.0%
3-2	介護保険サービスを利用しない人で、ほとんど外出しない人の減少(1回／週)(65歳以上)	オアシスアンケート	5.8%	12.6%	11.2%	D	3.0%
3-3	日常生活における歩数の増加						
	男性	県民健康栄養調査	5,725	6,136		D	6,700
	女性	県民健康栄養調査	5,290	5,625		D	5,900

(3-2)直近値はオアシスアンケートによるが、対象者が異なる

(3-3)今回県民健康栄養調査の結果が出ていないため、直近値が得られない

4 歯の健康							
	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
4-1	80歳で20本以上自分の歯を有する人の増加(80～84歳)	県民健康意識調査	11.1%	20.8%	36.4%	A-1	30.0%

(4-1)直近値は21アンケートによる

5 タバコ・アルコール							
	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
5-1	喫煙者の減少(65歳以上)	21アンケート	15.5%	11.7%	12.7%	A-2	10.0%
5-2	日本酒の適量を1日1合と知っている人の増加(65歳以上)	21アンケート	50.0%	50.0%	61.8%	A-1	60.0%
5-3	適量の中で飲酒を楽しもうと思っている人の増加(65歳以上)	21アンケート	50.3%	84.7%	86.2%	A-2	95.0%

6 心の健康づくり							
	評価指標	指標元	策定時 (H16)	中間評価 (H19)	直近値 (H23)	達成状況	目標値
6-1	充実感を感じている人の増加(65歳以上)	21アンケート	77.4%	82.5%	73.3%	C	90.0%
6-2	趣味活動や生涯学習活動に参加している人の増加(65歳以上)	オアシスアンケート	53.0%	34.0%	61.6%	D	60.0%
6-3	65～74歳人口に占める要介護者の割合	介護保険課資料	4.0%	4.0%	3.3%	A-1	4.0%

(6-2)設問内容が異なる